

議題 1

白井市第2次地域福祉計画「地域福祉に関する施策」にかかる 主な取組の令和4年度進行管理について

1 「地域福祉に関する施策」にかかる主な取組の令和4年度進行管理について

白井市第2次地域福祉計画の「地域福祉に関する施策」にかかる主な取組について、令和4年度の実績を踏まえて評価を行いました。(別添資料①、②)

(1) 地域福祉に関する施策の評価

コロナ禍における「新しい生活様式」に沿った活動方法を創意工夫し取組を進めた結果、一部遅れがある取組が2項目、事業が実施できなかった取組はありませんでした。

◇評価の凡例からの視点による評価 (R2:55項目 R3:54項目 R4:58項目)

評価の凡例	令和2年度	令和3年度	令和4年度
A 順調に進んでいる(80%~100%)	18項目(33%)	22項目(41%)	38項目(66%)
B 概ね進んでいる(60%~79%)	15項目(27%)	20項目(37%)	18項目(31%)
C 一部遅れがある(1~59%)	9項目(16%)	8項目(15%)	2項目(3%)
D 未実施(0%)	13項目(24%)	4項目(7%)	0項目(0%)

◇評価が「C 一部遅れがある」となった取組(2項目)の今後の方向性

取組項目	今後の方向性
14 新たなサービス実現への支援 ※高齢者福祉課の 評価	<p>評価 R2:C、R3:C、R4:C(一部遅れがある)</p> <p>実績の指標:創出したサービス数(R4:0件)</p> <p>市全域を対象とした第1層協議体の役割を明確にし、生活支援コーディネーターを中心に、地域ぐるみネットワーク等の活動の推進を図り、不足する資源の創出を目指していく。</p> <p>また、<u>実績の指標に生活支援コーディネーターの支援や助言回数を追加し、新たなサービスの実現に向けた取組全体で評価できるようにする。</u></p>
17 生活支援体制整備事業の委託 ※高齢者福祉課が 社会福祉協議会に 委託して実施する取 組の評価	<p>評価 R2:C、R3:C、R4:C(一部遅れがある)</p> <p>実績の指標:取組の創出数(R4:0件)</p> <p>市全域を対象とした第1層協議体の役割を明確にし、生活支援コーディネーターを中心に、地域ぐるみネットワーク等の活動の推進を図り、不足する資源の創出を目指していく。</p> <p>また、<u>生活支援コーディネーターと地域包括支援センターの定例会議を活用し、取組の創出に向けた検討を進めていく。</u></p>

◇基本方針からの視点による評価

基本方針	評価	項目数		
		R2	R3	R4
1 地域における福祉サービスの適切な利用の促進(13 項目)	A 順調に進んでいる	3	5	9 (69%)
	B 概ね進んでいる	5	7	4 (31%)
	C 一部遅れがある	3	1	0 (0%)
	D 未実施	2	0	0 (0%)
2 社会福祉事業の健全な発達の促進(9 項目)	A 順調に進んでいる	3	4	5 (56%)
	B 概ね進んでいる	2	3	2 (22%)
	C 一部遅れがある	3	2	2 (22%)
	D 未実施	1	0	0 (0%)
3 地域福祉活動への市民参加の促進(13 項目)	A 順調に進んでいる	2	3	7 (54%)
	B 概ね進んでいる	5	6	6 (46%)
	C 一部遅れがある	2	1	0 (0%)
	D 未実施	4	2	0 (0%)
4 避難行動要支援者に対する支援(10 項目)	A 順調に進んでいる	4	3	6 (60%)
	B 概ね進んでいる	1	4	4 (40%)
	C 一部遅れがある	2	1	0 (0%)
	D 未実施	3	2	0 (0%)
5 生活困窮者に対する支援(10 項目)	A 順調に進んでいる	6	7	10 (100%)
	B 概ね進んでいる	0	0	0 (0%)
	C 一部遅れがある	1	3	0 (0%)
	D 未実施	3	0	0 (0%)
6 包括的な支援体制づくり(3 項目)	A 順調に進んでいる			1 (33%)
	B 概ね進んでいる			2 (67%)
	C 一部遅れがある			0 (0%)
	D 未実施			0 (0%)

(2) 令和4年度の実績評価に伴う見直し

令和4年度実績評価の結果を踏まえ、令和5年度以降の取組項目及び実績の指標等、新たに見直しが必要な1項目の見直しを行います。

◇見直しを行う事項

取組項目	見直し事項
14 新たなサービス実現への支援	<p>実績の指標の変更</p> <p>令和5年度から新たに実績の指標を1指標追加し、上段に既存指標の「創出したサービス数」、下段に「サービスの支援・助言数」を追加し、新たなサービス実現に向けた取組全体で評価する。</p>

(3) 令和4年度からの新たな取組

令和3年度に実施した第2次地域福祉計画の中間見直しにおいて、令和4年度から新たに基本方針を1項目追加、それに伴い取組項目を3項目追加しました。

これにより令和4年度からは、6項目の基本方針に58項目（再掲を含む）の取組項目により進めています。

また、計画の中間見直しにおいて、SDGs（持続可能な開発目標）の視点を踏まえて計画を推進するため、計画書のほか進行管理シートにも基本方針・施策の方針ごとに関係する目標を置き、事業評価を行う担当課や関係機関がSDGs（持続可能な開発目標）の視点を踏まえて評価できるようにしております。



◇ (6) 包括的な支援体制づくりの評価（資料① 15頁 一部抜粋）

取組	実績	評価	取組による成果、今後の課題や方針
46 包括的な相談支援	くらサポの他機関経由による相談件数 187件 くらサポ相談件数 339件 社協心配ごと相談 404回 966件	評価 A	断らない相談支援窓口となっているくらサポの認知度は年々高まってきており、4年度は庁内12課、庁外13機関から経由して様々な相談につながった。 社協も、弁護士、司法書士、税理士による専門相談からちよつとした困りごとなど、市民からの様々な相談に関係機関と連携し対応している。 今後も断らない相談支援先としての周知啓発を図りながら、関係機関と連携を密にしていく。

※くらサポ: 白井市くらしと仕事のサポートセンター、社協: 白井市社会福祉協議会

取組	実績	評価	取組による成果、今後の課題や方針
47 参加支援	支援後に社会参加機会につながった件数 6件	評価 B	重層的支援会議を白井市くらしと仕事のサポートセンター支援調整会議に位置付けて運営していく。 生活困窮者自立相談支援機関で6件支援後に社会参加機会の増加につながった(3年度1件、2年度2件) 今後は、関係機関と連携し居場所やコミュニティなどの「場」の創出を目指していく。

取組	実績	評価	取組による成果、今後の課題や方針
48 地域づくりに向けた支援	社会資源の開拓 くらサポが4機関とのつながりを図った	評価 B	社会資源の把握や地域づくり活動として、4年度は地元の中小企業家、就労支援先の地元企業など4機関とのつながりを図った。 今後も市民ニーズに合った社会資源の開拓を目指していく。

